

# 統合文教施設建設

で基礎掘削工事に着手した。

**問** 継続費の補正で、平成27年度が約2000万円減っている。認定こども園の関係の縮小か。

**答** 2000万円は27年度から井戸の工事にかかる前倒し分。

**問** 統合文教施設工事は、工期がタイトなので冬工事のために除雪費を盛り込んでいると6億円の増額補正で説明された。それなのに除雪費が1700万円、理解できない。

**答** 総額6億円の追加にあった除雪費は、給食センターに入る道路等の冬季の交通確保などにかかるもので、性格が違う。

**問** 埋設物が出てきたから2800万円を補正で、と言われてもちよつと理解できない。

**答** 地下埋設物、これを言われたままに払うつもりはなく、これからも交渉しなければならぬ。

**問** 補正についても町民の皆さんにしっかりと説明する責任が町当局にはあるか。

**答** その部分は考えていかなければいけないと思ってる。

**問** 学校建設の件、もっと早く説明出来なかったのはどうしてなのか。

**答** 金額を出すと、議会前からその額が独り歩きすることもある。精査しながら本会議に提出した。

## 反対討論

角谷 勉

8月6日の全員協議会で、学校建設の工期延長の報告があった。その際、増加工事については、地中埋設物の説明のみで除雪費及び井戸掘削についての説明は全くなかった。

今回、補正予算に挙げられている除雪費については、昨年6億円増額の内訳として、「入札が遅れた結果、工期が短縮された。本格的な工事を行うために、スケジュールを見直し、除雪関係の費用も見直した。」と執行部は説明した。

6億円増額の際に除雪費を見直したにもかかわらず補正予算に再度計上されたことに納得がいかない。加えて、学校建設に共に取り組んできた教育委員会より町長あてに意見書が出されている。

「教育委員会も町民への説明責任が発生する。決められた経費の中での執行をお願いします」という内容である。昨年度6億円という巨額な増額を行っており、とうてい6600万円の補正予算が町民の皆さんの理解が得られるとは思えない。よって今回の補正予算には反対をする。

## 開会中の常任委員会審査

・道の駅(三俣)の指定管理者が決まりました  
・18歳までの医療費助成が決まりました

### 産業建設常任委員会

委員長 関 忠夫

9月10日

(議案3件)  
※主なもの(詳細は表決結果参照)

●道の認定

全員賛成・可決  
田中・平沢地区の道路改良工事に関連するもの。

9月18日

●道の駅「みつまた」の指定管理者の指定

全員賛成・可決  
三俣未来まちづくり協議会

会長 樋口 健

平成25年11月10日

平成30年3月31日まで。

### 総務文教常任委員会

委員長 今村 定一

9月11日

(議案4件・発議2件・請願2件・陳情3件)  
※主なもの(詳細は表決結果参照)

●ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の制定

全員賛成・可決  
療費助成に関する条例の一部を改正するもの。

●子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

全員賛成・可決  
湯沢町では11月より、満18歳を過ぎたその年度末まで医療費を助成するもの。

●平成25年国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

全員賛成・可決

平成24年度の繰越額が確定したことにより

繰越金を2461万8000円増額し、これにより関連して国保支

払い準備基金繰入金1031万8000円を減額するもの。

### 厚生福祉常任委員会

委員長 佐藤 守正

9月11日

(議案5件)  
※主なもの(詳細は表決結果参照)

●子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

全員賛成・可決  
湯沢町では11月より、満18歳を過ぎたその年度末まで医療費を助成するもの。

●平成25年国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

全員賛成・可決

平成24年度の繰越額が確定したことにより

繰越金を2461万8000円増額し、これにより関連して国保支

払い準備基金繰入金1031万8000円を減額するもの。